

メガホン

2019 SUMMER Vol. 1
発行：富岡町図書館

特集／図書館、再開して一年。



暮らしの中に図書館を。

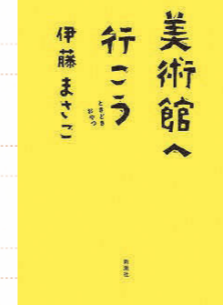
富岡町図書館情報紙

メガホンって何？

【megaphone】
声を大きくして遠くに届けるために使う道具。拡声器。

「メガホン」は、富岡町図書館が発行する情報紙です。よりすぐりの本の紹介と、図書館からみえる町の「今、ちょっといいこと」を不定期でお届けします。近くにも遠くにも、楽しみのお裾分けです。

図書館員のおすすめ本



美術館へ行こう
伊藤まさこ／著（新潮社、2018）

「え、これも日本？」と疑ってしまうくらい素敵な美術館を巡る旅本。美術品を飾る空間と建物に心惹かれます。旅行というついでに予定を詰め込みがちだけど、美術館でゆっくりしてみるのも、またいいかも。本書に掲載されている朝倉彫朔館は、私もおすすめしたい場所です。



傳 一つたえー 遠藤千晶箏リサイタル
遠藤千晶／歌・箏
（日本伝統文化振興財団、2012）

箏演奏家・遠藤千晶（福島市出身）をご存知ですか？震災を経験し、伝統音楽の箏曲を次世代へ伝えつないでいく想いをタイトルにこめた一枚です。弦の弾ける響きとその音色に引き込まれ、箏曲のイメージが変わります。（CD）

海とジイ
藤岡陽子／著（小学館、2018）

私自身子どもの頃、同居する祖父にとってもなついていたせいか「ジイ」の深い言葉、優しさに触れると心が温かくなります。この本は海辺を舞台に三人の「ジイ」が、孫や周囲の人々に生きる希望を与えてくれるお話。



みんなでつくる1本の辞書
飯田朝子／著 寄藤文平／絵
（福音館書店、2015）

鉛筆、大根、ヤキトリは「1本」と数えます。ホームランや柔道の技のように形がないものも「1本」と数えます。なぜ？…数え方を調べるうちに、日本人の感覚の面白さが見えてきました。どのようにものをとらえるか。「1本」から世界が広がる1冊。



蔵書点検に伴う 図書館休館のお知らせ

富岡町図書館は、以下の期間、蔵書点検のため休館となります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

＊富岡町図書館の特別休館日
2019年8月26日(月)～9月6日(金)

期間中の資料の返却は、ブックポスト（「学びの森」入口脇）をご利用ください。
CD・DVDや、他市町村の図書館から取り寄せをした本は開館日にお持ちください。

富岡町図書館 <http://www.manamori.jp/>

〒979-1151
福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1
電話：0240-21-3665 FAX：0240-23-5225

開館時間 火～日（祝日、休日を除く）
午前10時～午後6時

休館日 原則、毎週月曜日・祝日

蔵書点数 図 書… 約8万5,000冊
CD・DVD… 約5,000点

富岡町図書館では、出張おはなし会やブックトークなどの活動を行っています。利用をお考えの方は、お気軽にご相談ください。

平成から令和へ。新しい時代がやってきました。
「メガホン」は、図書館や富岡の今をお届けする図書館情報紙です。
第1号は、再開館から1周年を迎えた図書館の魅力をご紹介します。



教育長 石井 賢一

富岡町図書館です。

こんにちは！

Q 富岡町図書館ってどんなところ？

文化交流センター「学びの森」の1階にある図書館は、**明るくてとっても広い！** 緑に包まれた、まさに森の中の図書館です。閲覧席が充実しているの、ゆったりとした時間を過ごせますよ。
「くつろぎスペース」には、ちょっとしたお茶菓子と飲み物をご用意していますので、休憩や待ち合わせ場所としても、ご利用ください。
図書館は「とくに用事はないけど、ちょっと行ってみようかな」という気軽な気持ちで利用していただける場所です。
お友だちとのおしゃべりや、新しい本との出会いを楽しんでください。



主任司書 伊藤 晶子

Q 本のほかには何があるの？



司書 東山 恵美

CDやDVDを置いています。貸出はもちろん、館内のブースで視聴することもできますよ。そのほかに**新聞**が9紙と、**雑誌**は80誌以上がそろっています。**マンガ**も読めちゃいますよ。
インターネットで調べ物がしたいときには、館内に設置しているパソコンをご利用ください。館内は**Free Wi-Fi**が使えます！ご自身のタブレットやノートパソコンを持ち込むことも可能です。
また、図書館は資料の貸出だけでなく、**レファレンスサービス**（調べ物のお手伝い）を行っています。ぜひご利用ください。

わたしのお気に入り

「そんなに情報集めてどうするの」「そんなに急いで何をするの」「頭はからっぽのまま」の言葉に一瞬立ち止まる。詩人の茨木のり子が注1)「時代おくれ」の中で私に問いかけてくる、二十年も前に。彼女は最後にブータンの子どもたちの日常を詠い、「何が起ころうと生き残れるのはあなたたち」としめる。携帯電話を見つめる自分の姿にため息ももれる。

図書館の本棚をすり抜けていくと一面のガラス張り。夏のひととき、お気に入りの一冊を手に、この特等席でまったり過ごすのはどうだろう。

注1) 『茨木のり子集 言の葉3』 茨木のり子／著（筑摩書房、2002）

知らなきゃもったいない！ 体験する図書館

図書館は本を借りるところ……だけじゃない！
講師を招いてお話を聞いたり、ものづくりをしたり。
いろんな体験ができる場所でもあります。
“新しい発見”を探しに、図書館へ出かけてみませんか。

▼ ビーズブレスレット



手芸教室

震災前、富岡町中央に店をかまえていた手芸屋さん「ヤマダヤ」のご店主を講師に迎えて行った手芸教室。皆さんと、わいわい賑やかに作品をつくりました。



◀ クラフトテープのクリスマスツリー

講演会・ワークショップ

歴史講演会「富岡町と戊辰戦争」では、郷土史の分野でご活躍の夏井芳徳氏をお招きし、町に刻まれた戦いの歴史を臨場感たっぷりに語っていただきました。
これからも、好奇心をくすぐるさまざまなイベントを企画していきます。